

“上郡帯”より石炭紀さんご化石の発見

猪木 幸男*

Findings of the Carboniferous Corals from the So-called
Kamigōri Structural Belt, Japan

By

Sachio IGI

Abstract

The following Carboniferous coral fossils were found in limestone intercalated in the Paleozoic basic tuff, in the so-called “Kamigōri structural belt”:

Clisaxophyllum cfr. *awa* MINATO and

Pseudopovona cfr. *taisyakwana* YABE, SUGIMURA et EGUCHI.

Findings of these corals are significant in suggesting the attribution of the formation containing the above-mentioned basic tuff and limestone to the Carboniferous.

兵庫県地質鉱産図説明書(1961)によれば、兵庫県南西部に舞鶴帯に類似する構造帯として“上郡帯”がある。そこには*Lepidolina*帯や三畳系の存在は確められていないが、夜久野複合岩類の帯状分布や、南側に弱変成岩類の分布することを特徴として、東方の丹波帯の岩石と区別している。この上郡帯の夜久野複合岩帯の北方には、砂質岩を主とする丹波層群酷似の岩相をもつ未区分古生層——神戸・広川(1961)によれば、三日月層、山崎層——が分布し、これらの間にシャルスタインを含む地層が細長くはさまれ、夜久野複合岩帯と平行して東西に走り、西側では上郡帯の“北翼の古生層”と一つづきのものとなっている。これら三者の間には東西性の断層が走っていると考えられるが確証はない。

ここに報告する化石は、このシャルスタインをはさむ地層の西への延長部の石灰岩のなかから発見された。産地は兵庫県上月町稗田で第2図に示す。

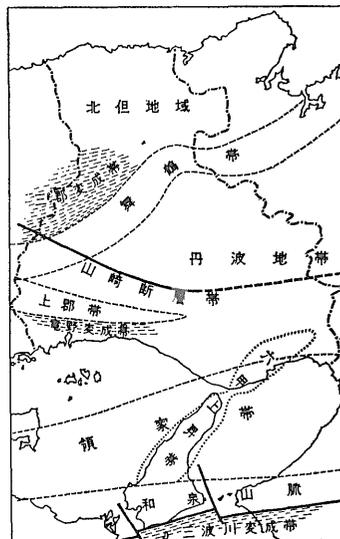
化石を含む石灰岩は厚さ10m位のシャルスタイン層の上部にレンズをなすものであるが、さらに上部ではシャルスタインと共に角礫状をなしている。それにつづく上位層はやや千枚岩質の粘板岩を主とする。

採集された化石は僅か2コであり、保存状態はあまりよくないが、ともに北海道大学湊正雄教授によって鑑定された。その結果は次のとおりである。

Clisaxophyllum cfr. *awa* MINATO

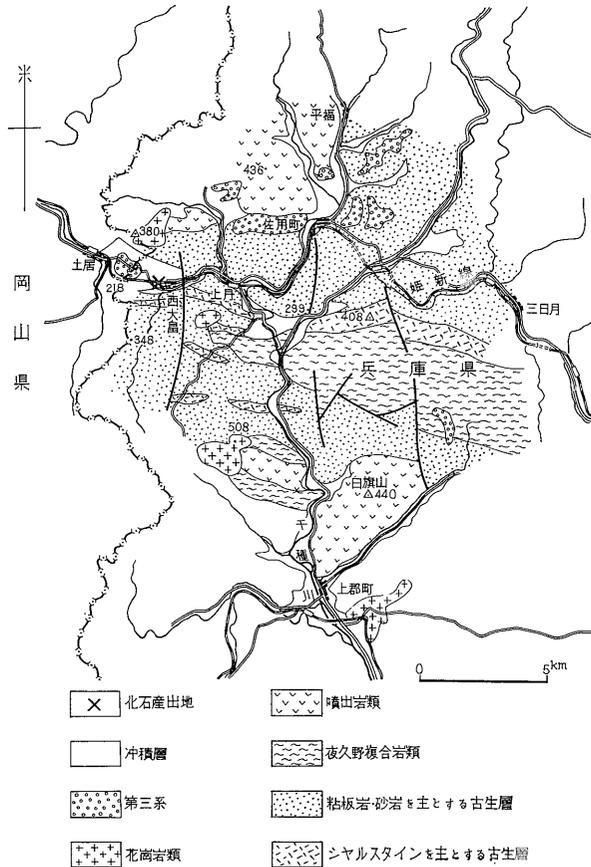
Pseudopovona cfr. *taisyakwana* YABE, SUGIYAMA
et EGUCHI

これらの化石は広島県の帝釈台地地域の帝釈川層群の断魚溪層、永明寺層の中にそれぞれ含まれており(YOKOYAMA, 1957; FUJIMOTO & IGO, 1958; 横山,



第1図 兵庫県の地質構造の区分(兵庫県, 1961)

* 地質部



第 2 図 化石産出地付近の地質略図

1959; 長谷, 1964) 確実に石炭紀に属するものである。

この化石を含む地層は、西の中国帯にのびていることは間違いないが、東の丹波帯へも延長するものとする、丹波層群の下位層をなすことが推定され興味深い。

この地域の地質の詳細については 5 万分の 1 「上郡」地域地質図のなかで発表されるがここでは以上の事実をとりあえず報告した。

本文を書くにあたって、化石の鑑定に御協力下さった北大湊正雄教授、地質部吉田尚氏に深く感謝する。また、化石賦存地域についていろいろ有益な教示助言を頂いた京都大学中沢圭二教授ならびに地質部磯見博氏に厚くお礼申上げる。

文 献

FUJIMOTO, H. and IGO, H. (1958): The fusulinid zones in the Japanese Carboniferous. *Sci. Rep. Tokyo Kyoiku Daigaku, Sec.*

C, 6 (53), p. 127—146.

長谷 晃 (1964): 広島県の古生界. 広島県地質図説明書 p. 31~59

兵庫県 (1961): 兵庫県地質鉱産図および同説明書

神戸信和・広川治 (1963): 5 万分の 1 地質図「佐用」および同説明書. 地調

YOKOYAMA, T. (1957): Notes on some Carboniferous corals from Taishaku district, Hiroshima prefecture, Japan. *Jour. Sci. Hiroshima Univ.*, Ser. C, (1), p. 73~82.

横山鶴雄 (1959): 帝釈峽地域の地質. 中国山地国定公園候補地学術調査報告, p. 29~42